

歯・口のケガは、実は表のようにバスケットボールがフーストワンです。



負傷時の運動指導内容 (歯牙歯折)

	中学校	高等学校
第1位	バスケットボール (301)	バスケットボール (248)
第2位	バレーボール(147)	野球(193)
第3位	サッカー (137)	サッカー (127)
第4位	テニス(134)	バレーボール(117)
第5位	野球(109)	ラグビー (58)
第6位	バドミントン(50)	テニス(55)
第7位	柔道(35)	ハンドボール(47)
総計	1256件	1198件

※学校管理下の災害-23

○口唇の裂傷

口唇はとも出血しますが、実際の出血量は少ないはずなので、焦らずタオルなどで圧迫止血をして下さい。傷口が完全に開いている時は縫合が必要です。口腔外科を受診して下さい。顔も完全に切れてしまったなら、形成外科を受診先です。



○歯の破折

歯が折れたり、欠けたりしても、歯の神経が露出していなければ治療は簡単です。欠けた歯を見つめることができれば歯科クリニックに持参して下さい。状況により、その歯を接着することが出来ます。それ以外は、合成樹脂またはセラミックなどで歯を復元します。



歯を強打して破折がまったくなくとも、3週間ほどで歯が黒く変色することがあります。これは歯の血管・神経が切れたことによりです。かならず歯科クリニックを受診して下さい。

○歯の脱臼

脱臼は、歯の破折よりも強い外力が加わった時に起こります。完全脱臼した歯でも保存と時間的條件が良いとかなり元に戻ります。歯科クリニックに持参して下さい。この際、歯を乾燥させないことが重要です。



半脱臼の場合は我慢してしっかり歯を押し込み、タオルなどをしっかり食いしばって咬み合わせがずれないようにして歯科クリニックを受診して下さい。

歯・口だけのケガならマウスガード装着でほとんど防ぐことができます。競技指導者は、ぜひ子供たちにマウスガード装着を義務つけてほしいものです。



マウスガードは市販品でも構いませんが、できれば歯科クリニックでオーダーするのがお勧めです。